

# SDGsビジネス賞受賞

アール・タチバナ 資源循環に評価

土木建築・解体工事のアール・タチバナ（富山市二口町、橋正則社長）は、環境に優しい社会の実現につながる取り組みを表彰する環境省の「グッドライフアワード」の「SDGsビジネス賞」を受けた。伝統文化を生かす資源循環の取り組みが評価された。同賞の受賞は県内企業で初めて。

同社は、市内にあった老舗料亭の解体材を譲り受けて直営飲食店「吳山飛天」（同市北代）の内装材や家具に使ったり、取り壊した

家屋の廃材などを高機能な木炭製品に加工したりする事業を展開。解体材を付加価値の高い資源として再生



老舗料亭の解体材を内装や家具に再利用した吳山飛天の店内（富山市北代）

し、循環型社会の構築を目指すしている。

橋泰行専務は「地域のためにビジネスを続け、富山の素晴らしさを次世代に伝えたい」と話した。表彰式は30日に都内で行われる。

同アワードの実行委員会は、元環境事務次官の炭谷茂氏（高岡市出身）や環境省総合環境政策統括官の中井徳太郎氏（元県生活環境部長）らが委員を務める。